

福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学) 月例報告書(10月分)

留学先：文藻外語大学

名前：西郡優季

こんにちは！高雄に来て1ヶ月が経ちました。10月分の月例報告書では、私が文藻外語大学で履修している授業について紹介したいと思います。台湾の大学では1単位1時間分の授業で行われており、だいたい2時間(2単位)・3時間(3単位)まとめて行われ、1時間ごとに10分間の小休憩をはさみます。私の時間割はこのようになっています。

	月	火	水	木	金
1					
2					国際関係
3					
4					
5					
6		日語口語訓練		小老師	
7					
8	時代華語	時代華語	時代華語	時代華語	時代華語
9					
10					
11	日本歴史				
12					
13					
14					

朝一番の授業は8:10から始まり、最後の授業は22:00に終わります。授業以外の時間は図書館やアパートで課題をしています。当初は英語開講科目を多くとる予定だったのですが、ほとんどが中国語のクラスと被っていたので英語開講科目は一つだけとなってしまいました。日語口語訓練という授業と毎日の中国語のクラス、そして小老師という制度について紹介したいと思います。

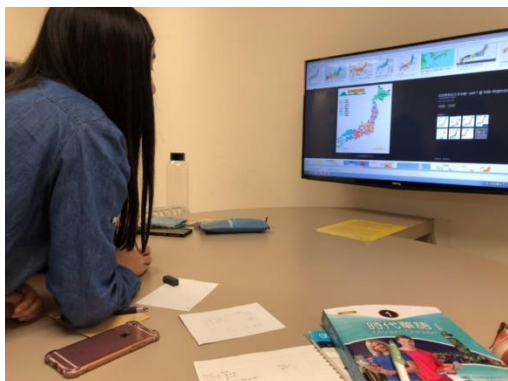
<時代華語>

毎日 8.9(15:00~17:00)は華語中心の教室で中国語の授業をフランス人1人、ドイツ人2人、韓国人2人、スペイン人1人、日本人8人の合計14人で受けています。

この授業では、主に発音や会話を重視しているので、授業中はクラスメートと中国語で会話をしたり、口頭発表をします。最近は毎日小テストがあるので、復習を毎日欠かさずしています。先生は基本的に中国語で中国語を教えてくださいますが、英語も話すことができるので全く分からなかったら英語で質問をすることもできます。

<小老師>

中国語のクラス以外にも、無料で小老師という学生のチューターがついてくれて、中国語を教えてください、小老師という制度があります。中国語をもっと上達させたいという人や、中国語を話す機会を増やしたいという人にはぜひおすすめです。この小老師の教え方は様々で、何をどのようにして中国語を学びたいかをあらかじめ伝えておくと、それに沿って教えてくださいます。私の場合はボキャブラリーが少ないので、ボキャブラリーを増やすことと、会話の練習をしたいということで、2時間あるうちの1時間は授業でわからなかったことについて質問し、残りの1時間は会話の練習を中心に教えてもらっています。しっかり授業内容の復習ができる上に、中国語のボキャブラリーが増えることで、中国語で会話できる内容が増えるのでとても良いです。



(小老師に教えてもらっている様子と華語中心の教室の写真)

<日語口語訓練>

この授業は日本語会話のクラスなので、私たち日本人学生にとって内容自体は非常に簡単です。私がこの授業で何をしているかというと、主に台湾人学生の会話練習を手伝っています。この授業はAクラスとBクラスに分かれており、私のいるAクラスは会話が得意な学生が多いです。会話の授業ということで学生の前で発表する時があるのですが、出来るだけたくさん話すということを目指し、他己紹介、ファッションについてなど、様々なトピックについて2~4人のグループになって会話の発表をします。私はPBLの一環としてこの授業を履修することになったのですが、日本語を学ぶ学生の手助けもできる上に、台湾人学生の友達もできるので履修してよかったと思います。

<最後に>

今回は授業について紹介しました。2週間後から中間テストが始まるので気を引き締めて頑張りたいと思います。次回は休日の過ごし方や、高雄のスポットなどを紹介したいと思います。